cross care NEWS vol27

2025.12

誤嚥性肺炎ゼロプロジェクトに実際にご参加頂いている施設職員さんにインタビューを行い、リアルな声を隔月発行にてお届けしています。普段はなかなか聞くことのできない、ゼロプロの舞台裏をぜひお楽しみください。

interview

特別養護老人ホーム
四季の郷さま

介護職
局さん

ゼロプロに参加して何か変化はありますか？

ゼロプロに取り組み始めて、目に見えるようにお客様のお口の中が綺麗になっているのは嬉しい変化です。また、以前は歯ブラシをお口に当てるだけで拒否されていたお客様で、お口を開けてくださるようになった方もいらっしゃいます。このような変化を成功体験として、継続した取り組みができればと思っています。

日々の取り組みで工夫している点は？

先日の若葉苑さんの視察ツアーに参加させていただいた際、確認試験の合格者をリストアップしている様子を拝見しました。可視化することはとても良いことだなと思い、施設に持ち帰りました。まず、勤務表に確認試験のスケジュールを書き込み、誰が合格していて誰が合格していないかを一緒に共有することにしたんです。職員の認識が変わった気がします。

ゼロプロで次に目指すところは？

初級セミナーを受講する目的の 1 つとして、「ゼロプロに参加する目的を知ること」があると思うんです。「そういう指示があったから、やればいいや」ではなく、きちんと意義を理解して取り組むことが大切だと考えています。その指標として、セミナー試験合格があると思うので、より多くの職員が中級合格を目指して、みんながおんなじレベルで口腔ケアができる状態を目標にしたいですね。

介護職
村形さん

ゼロプロ参加の経緯を教えてください

本年度の施設のスローガンが「クラスターゼロ・誤嚥ゼロ」なんです。口腔ケアで誤嚥性肺炎をゼロにする、ゼロプロの導入を知ったとき、まさに目指しているところが同じだなと思いました。それまでもお客様の食事形態を見直したり、口腔体操を取り入れたりしていたのですが、口腔ケアにも力を入れることになりました。

どのように携わっていますか？

口腔ケア委員会のメンバーとして、とにかく情報共有が大切だと思っています。職員会議などみんなが集まる場では、口腔ケアのポイントを押さえることで誤嚥性肺炎防止の成果があることを伝えたり、定期的な OHAT の結果はグループチャットに共有したりしています。お客様によって対応の仕方に改善の必要がある方は、ピックアップしてみんなで検討することもありますね。

取り組みのなかで意識していることは？

常勤のスタッフと非常勤スタッフでは、どうしても口腔ケアの実施回数に差が生まれてしまうので、そのことがネックにならないようにしないといけないと考えています。手技の統一が大事だと思っているので、回数の少ない方には技術の伝達を重点的にすることを心がけています。

information

社内運動会2025を開催しました

今年も 10 月 25 日に CCD 社内運動会 2025 を開催しました。第４回目の開催となりました。今回も社員の家族は自由参加で、賑やかな運動会となりました。
今年はスリッパ飛ばし、ドリブル競争、〇× クイズ、障害物競走、浮き輪投げ、玉入れ、リレーの 7 種目でした。
今回のチーム分けは部署ごとだったので、より部署内の親睦が深まったのではないかと思います！

2026 年もチームワークを大切に、介護現場に寄り添っていきますので、よろしくお願いいたします。本年もありがとうございました。

編集後記

最後まで読んでくださり、ありがとうございます。今回の vol.27 で 2025 年の発行は最後になります。今年も、お忙しいなか取材にご協力いただいた施設のみなさま、誠にありがとうございました。興味深いお話をお伺いさせていただき、みなさまにお伝えすることができて、良かったです。みなさま、どうか良いお年をお迎えください。　2025 年 12 月　川谷

＼check!!／

SNS
公式 LINE、instagram、YouTube にて情報を発信しています。

株式会社 クロスケアデンタル
編集担当：川谷
お問合せ：092-986-9600
info@crosscare-dental.jp